

日本ゴルフコース設計者協会 研修会レポート

開催日： 4月18日(水)・19日(木)

コース： 央戸ヒルズCC(西)・大洗GC

こんにちは、ハッピーゴルフ・プレミアム倶楽部の米野です。

4月18日(水)・19日(木)に開催された
日本ゴルフコース設計者協会研修会に会員の皆さまと
参加をしてきましたので、当日の様子をレポートにまとめました。

今回の研修会の舞台となったのは、
どちらも日本を代表する名門コースで、
きっとあなたの憧れのコースでもあるのではないのでしょうか。

そんな日本を代表する名門コースの歴史や
設計者協会の研修会の様子まで分かるようにレポートをまとめておりますので、
ぜひリラックスして、お読み頂けたら嬉しいです。

研修会の第一日目は… 「央戸ヒルズカントリークラブ 西コース」

研修会の第一日目の舞台となったのは、
毎年「日本ゴルフツアー選手権 森ビルカップ」の
開催コースである、央戸ヒルズCC西コースです！



日本ゴルフツアー選手権は
日本のメジャーゴルフトーナメントの中でも
最も新しく創設された大会です。

優勝者には向こう5年間の日本ゴルフツアー機構公認試合（公式戦）のシード権のみならず、
世界ゴルフ選手権の「ブリヂストン招待選手権」の出場資格も獲得できるとあって、
毎年日本を代表する多くの選手が
熱い闘いを繰り広げる、男子の人気トーナメントです。

あなたも毎年TV中継を見ているのではないのでしょうか？

そんなトーナメントの開催コースである
穴戸ヒルズCC西コースで研修会を行いました、
当日は残念ながら朝から雨となってしまいました。



雨に負けず、恒例の集合写真

しかし、そんな雨の中でも
皆さんドライビングレンジでショットの調子確かめつつ、
練習グリーンでも速さを確かめたりとやる気充分なご様子でしたよ！



前半終了後の皆さんにお話を伺うと、
「さすがトーナメントコース、難しいです。雨のせいにしちゃおうかな？」
「雨で距離感もつかめなくて散々です・・・」

と皆さん、雨と戦略的な難コースに苦戦させられていました。

午後からは雨が上がりますように。と皆さんで祈っていましたが・・・

驚くほどの晴天に！！

皆さんの祈りが通じたのか、
午後からは朝の天気が信じられないほどの
晴天になりました！

「やっぱり晴れるとスタートするときの気分が違うね！」
「ゴルフはやっぱりこの天気じゃないと！」

と皆さん、午前に雨の中でのプレーをしてお疲れのはずですが、
一切疲れを感じさせず、元気いっぱいにスタートしていかれました。



皆さん天気が良くなりニッコリ

名物ホールを紹介します！

さてここで、穴戸ヒルズCCの名物ホールを
少しだけご紹介します。

穴戸ヒルズCC西コースと言えば、
ツアー史上最も難しいPar4とも言われる
17番ホールです！！

距離が長く、グリーン手前の
大きく口を空ける池の存在感と
美しい景観は穴戸ヒルズCCを語るには
外せない名物ホールでしょう！



西コース17番ホール

ちなみにあまりの難しさに
「トーナメントでもグリーンは12フィート以上にしないように」
と、コース管理の方が気を付けている
というウワサもあるようです…

次にご紹介したいのは、
Par3の5番ホールです！

池越えのショートホールで、
バックティからは230ydもの距離がある
難ホールとなっています。

ピン位置によっては上級者でも
大たたきする可能性のあるホールですが、
池が作り出す美しい景観は見物ですよ！



西コース5番ホール

まだまだ他のホールも
美しい景観と戦略的なホールがありますので、
気になる方はぜひ一度訪れて、
実際にプレーしてみてください！

プレー終了後はパーティーもかねて 央戸ヒルズCCの歴史を勉強です！！

設計者協会の研修会は、プレーの終了後に
パーティーを行うのですが、その際に、訪れたゴルフ場の支配人様や
コース管理責任者様にコースについて様々なお話を伺う時間が設けられています。

コース設計にあたっての歴史から
普段は聞けないような本音の話までゴルフ好きにとっては
ぜひとも聞きたいお話ではないでしょうか。

央戸ヒルズCCでもフロントマネージャーの中園様に
たくさんのお話を聞かせて頂くことが出来ました！



今後、機会がありましたら
西、東ともにコンペの開催をさせて頂きたいと思いますので、
その際はぜひご参加くださいね！

研修会の第二日目は… 「大洗ゴルフ倶楽部」

研修会の2日目の舞台となったのは、
茨城の歴史ある名門コース「大洗ゴルフ倶楽部」です。

1日目とは打って変わって、
この日は朝からお天気も良くゴルフ日和となりました！



日本屈指の林間コースに挑む！

大洗GCというと、とても歴史あるゴルフ場のイメージだと思いますが、
それもそのはず、開場は1953年で
なんと65年の歴史がある名門コースです。

井上誠一氏が設計の日本屈指の難易度を誇る
茨城県の名門コースとして知られています。



スタート前には、日本ゴルフ設計者協会の理事でもあり、
設計士の川田太三氏よりお話を頂き、本日の競技ルール等の
説明を聞き、スタートです！

スタートホールからもまた見渡す限り、
本当にたくさんの松の木が立ち並び、
古き良き名門コースの風格に圧倒されました。



ハッピーゴルフ・プレミアム倶楽部からも2日間のご参加の方も多く、

「大洗GCは初めてのラウンドなので楽しみです！」

「今日は天気が良くて良かったです。」

「●●さん、こないだタイツアーで一緒でしたよね！！」

「そうです！どうもお久しぶりです。」

など、みなさん和気藹々と、気持ち良くスタートされていきました。



井上誠一氏が設計のシーサイドコース！ 日本でも有数の難コースに挑戦

この大洗GCは、距離が長い林間コースや、タフで戦略的コースなど、
18ホール中にバランス良く盛り込まれており、
奥の深い知的なプレーが堪能できる設計となっているようです。

ホールの両サイドにある松林は年と共に枝ぶりが豊かになり、左右だけでなく上下のプレッシャーをかけてきますが、樹木の成長の具合によって難しさも増すのも魅力の一つと言えるでしょう。

名物ホールもたくさんありますが、まずは16番、パー3。ここは、長くて風が強いので有名ですが、林間コース特有の松の上空で横風が吹きやすいホールです。

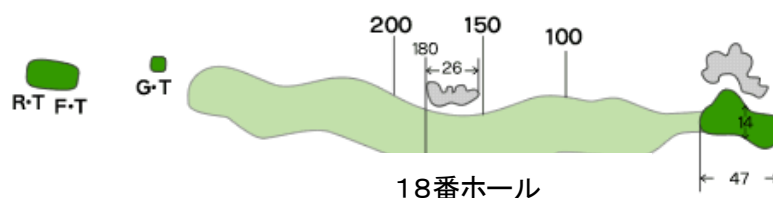


ですので、風という見えないハザードがありますから、風をどう味方につけていくか、悪くてもグリーン手前の花道に落とすか？

そこが勝負どころとなるようです。

そして最終18番ホールです。437Y超ととにかく長い距離のパー4です。

このホールは以前からTVでも再三再四映っているホールなので記憶されている方も多いと思います。



左のバンカーを避けフェアウェイセンター狙いになりますが右の松林は一段低くなっているので、打ち込んでしまったら確実にフェアウェイへ出すことをお勧めします。

プレー後のパーティーでは

この設計者協会との合同コンペの面白いところは、設計士の川田氏や、ゴルフ場の支配人から、コース設計やコースについての思い入れや秘話など、お話を聞けることではないでしょうか？

普通にラウンドをしているだけでは決して分からない、裏側の設計の意図を知ることができたり、

「へー、なるほど、そうだったのか」

と興味深い発見ができますよ！



またプレー終了後に各組より代表の方1名に感想を聞いていくのが、恒例となっていますが、この大洗GCのコースの感想では皆さん圧倒的に

「 空中ハザードがとても面白かった 」

「 林との戦いでした。木はもう怖くありません！ 」

「 素晴らしいコースで、木々がとても立派でした。 」

「 コンセプトがしっかりと詰まったコースで
とても贅沢な立地と土地の広大さに圧倒されました」

など、やはり林間コースを存分に楽しんで頂けた様子でした。



最後までお読み頂きありがとうございました。

次回の設計者協会の研修会は

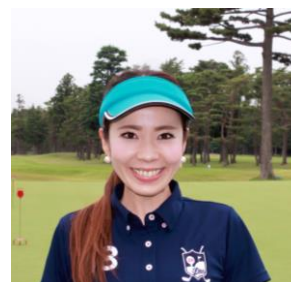
6月6日(水)に総武CC

6月7日(木)に藤ヶ谷CC

上記2日間に渡り開催されます。

どちらか1日のご参加もOKですので、
ぜひお気軽にご参加くださいね！

ゴルフ場でお会いできるのを楽しみにしております。



ハッピーゴルフアカデミー
サポート事務局 米野